

委員会評価報告書

事業名	定住促進事業（令和6年度実施）				
担当課・室・係	まちづくり推進課 地域振興係				
事業の目的	地域コミュニティや地域活力の維持・向上を図るため、市内在住者の定着を図り、また市外からの移住を促進する。				
事業の概要	空き家の有効活用を通して、定住促進による集落の維持及び活性化を図ることを目的に、空き家バンク制度を運営する。空き家バンク登録物件への入居を支援するため、移住者に対して空き家の購入や改修に係る経費の一部を補助。また、所有者に対して契約成立時の奨励金や家財道具の処分に係る経費の一部を補助。自治会にも物件登録に協力していただくため奨励金を交付。県外からの移住者に対し移住支援金や移住応援給付金により支援する。市移住定住ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖（メモ）」等を通して、全国の移住希望者に対し、本市の住まいに関する支援や、子育て・教育・就職に関する支援等の情報を発信する。				
事業結果に対する評価	A きわめて良好	B 良 好	<input checked="" type="checkbox"/> C おおむね適正	D 問題がある	E かなり問題
【問題点など】 空き家への移住定住者は令和5年度から減少しており、目標数とは大きな差がある。物件の登録数が少なく、選択肢が少ないことが問題だと考える。空き家バンク制度の限界を感じる。					
事業の今後の方向性	1 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 継 続	3 改 善	4 縮 小	5 休止・廃止
【提言など】 移住者と地域の良好な関係を構築するための体制づくりが必要ではないか。空き家アンケートの結果や自治会などの協力を得て、空き家登録物件の増加を図る。現行の事業に必要性は感じるが、他市にない本市独自の政策が必要である。市内在住者が市外に転出しない施策や働く場の確保なくして移住定住は進まないため、働く場を増やす取組を期待する。					